

# 平成29年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立草加南高等学校)

目指す学校像 (教育方針)	困難に挑戦する強い心と豊かな人間性を育み、社会に貢献する人材を育成する
重点目標 (努力点)	1 主体的・対話的な深い学びを実現するべく、協調学習をはじめとした授業実践を進め、学びの改革に適応した学力の向上を図る。 2 英語によるコミュニケーションの日常化に努め、埼玉県の英語の4技能指導をリードするほか、グローバル教育を一層推進する。 3 挑戦する気風を育み、女子の進路意識を高め、進学実績を安定して上昇させると共に、多様な進路実現に向けきめ細かく適切な指導を行う。 4 生徒に自発性を求め、部活動をさらに活性化し、教職員のワークライフバランスが実現できる、活力ある校風を醸成する。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	11名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	5名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					学校関係者評価			
年度目標				年度評価(平成30年2月1日現在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	・本校生徒に見合った学力向上に資する学習活動を展開したい。ICTを活用した授業研究、主体的・対話的で深い学びの実践が急がれる。また、授業について研究協議による切磋琢磨も必要である。	・優れた学力・体力の育成と授業改善を実践する。	①協調学習の研究開発員による授業案等の研究・開発及び検証を行う。 ②学力向上委員会にて、新教育課程の実施内容、相互授業観察等の取組を実施する他、探究的学習を取り入れる。 ③学力向上に係る研修会にてICTの導入等、授業スキルを向上させる。	①授業アンケートで「活気がある」と回答した割合(5段階で4以上の割合が80%以上) ②学力向上委員会で決定した取組の内容 ③実施の可否	①授業アンケートで「活気がある」の回答割合(5段階で4以上が62%) ②①全教科で授業観察・研究協議を行い(6,11月)全体研修を実施した。(12月) ②芸術鑑賞会、修学旅行に探究的学習を導入した。(全5回) ③視覚教材ツールとして、電子黒板を導入する。(3月)	B	・授業研究協議、研修会等の取組により、授業の満足度は概ね良好だが、大学入試改革対応に向けた授業改善が求められる。 ・探究的学習の行事への導入には成功したが、来年度は、各教科でも対応し、生徒の思考力等を更に向上させる。	・自分で課題を解決する能力は、小・中学校時代の蓄積がベースになるが、家庭によって差が生じる可能性がある。高校でのアクティブ・ラーニングへの取組は、大変期待できる。 ・授業アンケートを受け、「活気がある」授業を増やすには、生徒同士の学び・教え合う要素が肝要である。また、生徒の知的好奇心を満たすため、ICT等を活用する工夫も有効である。
2	・本校の特色である外国語科やグローバル教育の強みを前面に打ち出しており、より生徒の意識を醸成し、地域へ浸透させたい。英語の4技能育成について、その対応は急務である。	・国際社会を見通したグローバル教育、英語学習に係る事業を展開し、行事を拡充する。	①English Dayや留学生の日、学年単位での英語体験等、本校独自の取組を拡充する。 ②獨協大学との連携や外資系企業訪問等、生徒の未来予想図に寄与する行事を実施する。 ③英検の外国語科全員受験や英検合格者を200%増とする指導を行う。	①実施の可否 ②実施の可否 ③合格者数 ・2級以上(30名程度) ・準2級(100名程度)	①グローバル教育強化月間(6月)を中心に、新規3行事を追加拡充した。(前年比50%増) ②獨協大学連携事業として外国語ゼミ体験を2回実施した。(6,10月) ③英語検定合格者数 ①外国語科111名受験(達成度93%) ②2級以上14名(前年比27%増,達成率47%) ③準2級40名(前年比43%減,達成率40%)	A	・エンカウンター等を新規実施し、グローバル教育行事を拡充したが、来年度はその取組の醸成を図る必要がある。 ・英語検定への生徒の認識は高まっているが、合格数は横ばい傾向にある。大学入試改革を受け、来年度は、英語検定の全員受験に向けた取組を推進する。	・今年度は獨協大学と草加南高校外国語科で、外国語ゼミ交流を2回実施し、英語力を伸ばす良い機会となった。普通科の生徒も参加して、学校全体の取組に発展させていけば、さらに意識が高まり、より良い効果が期待できる。 ・英語通訳ボランティア等に意欲的に取り組んでいるので、2020年の東京オリンピックでもボランティア活動ができると期待している。他地域の先駆けとなって頑張ってもらいたい。
3	・学年ごとに進路実績が大きく変動することなく、安定して向上させる組織体制を整備し、4年制大学、短期大学や専門学校、就職等各進路先でワンランク上に挑戦する気風を築く。特に、保守的傾向の生徒のキャリア意識向上が求められる。	・生徒の将来を見据えた進路指導を展開する。	①分野別ガイダンスや講演会等の積極的な取組により、生徒や保護者の進路に対する意識の向上を図る。 ②外部説明会・分析会への参加や先進校視察の実施、スタディーサブリの有効活用等、生徒に対する進路指導を充実させる。 ③生徒のキャリア意識向上の視点に立った講演会や進路相談会を実施する。	①②③ ・一般受験者数(大学希望者の60%) ・中堅校合格者数(のべ120名) ④実施の可否	①②③④①一般受験予定者数は四大希望者の71%(達成率118%) ②中堅校合格者数(のべ15名) ②①先進校視察として県内外の5校を訪問した。(前年比150%増) ②大学入試改革研修会を3回行った。(6,9,12月) ③進路に関する資料等の更新(赤本60冊,全国入試・センター全教科) ③1,2学年を対象に、男女共同参画課と連携した講演会を実施する。(3月)	B	・一般受験者数の割合については目標を達成し、大学進学希望者の83%がセンター試験を受験するなど、上昇志向の気風が定着している。一方、中堅大学合格者数は伸び悩んでおり、来年度は進学補習の体系化を進める。 ・先進校視察や研修会等により、教職員の意識は向上した。来年度も更なる意識向上を目指す。	・大学で何に取り組みたいのかを明確にして、大学入試に臨んでもらいたい。高校では、将来の職業ではなく、もっと広く、何を学ぶのかを生徒に考えさせて欲しい。大学での学びの中で、自分を活かす職業を見つけてもらいたい。 ・大学進学に必要な計画がしっかり作られているので、大学入試に向けた準備を円滑に行うことができる。地域からの評価も高く、今後ともGMARCHを目標に、さらに学力向上に取り組むことを期待し、応援している。
4	・本校生徒は、各所から評判が良く、素直で落ち着いた。今後は、元気の学校の実現に向け、主体性を持って行動できるリーダーの育成が課題であり、部活動をはじめ人間力向上の観点での指導が求められる。 ・業務を見直し、その効率化を図ることで教職員のワークライフバランスの実現を目指す。	・挑戦する意欲や自主性を向上させる。 ・学校業務の効率化とワークライフバランスを実現する。	①各委員会で生徒から企画提案できるように指導する他、ボランティア活動を活性化させ、地域の行事等に参加させ積極的に情報発信する。 ②自発的な挨拶ができるよう、部活動をはじめ、学校全体で挨拶運動に取り組む。また、礼儀正しく元気の挨拶ができる部活動、十分に努力した部活動に「元気リーダー」の認定を行う。 ③業務の棚卸を実施し、業務のスリム化を図る。また、校務支援システムを導入し校務の効率化を図る他、成績処理等の一元管理システムを整備する。	①・各委員会の提案数(1提案以上) / 地域の行事等への参加(10回以上) ②・自発的に挨拶ができる生徒の割合(7割の達成) / 認定数(全部活動) ③業務や学校行事の見直し及び校務支援システム導入の可否と成績等入力システムの整備	①ボランティア活動の一環として、地域等の行事に13回参加した。(達成率130%) ②自発的に挨拶ができる生徒の割合は54%(達成率77%) ③校務支援システムを導入・整備し、成績処理等の一元管理システムを整備した。(1学年から先行導入)	A	・主体的に行動する生徒の増加は見られるが、自発的な挨拶の割合は、目標に達成していない。来年度も継続して、挨拶運動を展開する。 ・校務支援システムの導入による業務のスリム化は達成したが、学校行事の見直しには課題が残る。引き続き、業務等の効率化を進める。	・草南生の挨拶がどんどん良くなってきている。生徒会も挨拶運動を展開していて、中学生は、草加南高等学校の生徒が元気に挨拶する様子を見ている。良い影響を与えていると思うので、これからも、地域の見本となるよう、中心となって頑張ってもらいたい。 ・異校種間連携としての学習ボランティア、部活動交流等を通して、草加南高等学校へ行きたいと思う中学生がもっと増えてくれればと思う。また、卒業生が母校訪問として頻りに中学校に来てくれると嬉しい。部活動の先輩が、高等学校で生き生きと活躍している姿を見られることは、中学生にとってとても励みになる。